

事務事業評価表

平成13年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042 (769) 8240
担当部課名	環境保全部	環境対策	課	
事務事業名	自然エネルギー等利用設備補助事業		事業コード	21120

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	人と自然にやさしい地域社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第1節	地球環境の保全に向けた取り組み	13年度
施策名	第2施策	環境負荷の低減を進めるしくみづくり	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市環境基本条例、相模原市環境基本計画、相模原市補助金等に係る予算の執行に関する規則、相模原市住宅用太陽光発電設備設置補助金交付要綱、相模原市小規模雨水利用設備設置補助金交付要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
・住宅用太陽光発電設備の設置者に対し、補助金を交付することにより、住宅用太陽光発電設備の普及を促進し、もって自然エネルギーの有効活用に寄与する。 ・小規模雨水利用設備の設置者に対し、補助金を交付することにより、小規模雨水利用設備の普及を促進し、もって未利用資源の有効活用に寄与する。		設備を設置する市民	
		対象数	
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
住宅用太陽光発電設備補助金 7万5千円に発電設備の太陽電池出力(kw)を乗じて得た額(最高限度額30万円)を交付 小規模雨水利用設備補助金 補助対象設備の本体購入価格の2分の1の額(最高限度額3万円)を交付		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	相模原市環境基本計画
		計画年次	13年度～年度

指標名	補助金交付目標出力の達成率	小規模雨水利用設備設置率
指標式	補助金交付合計出力355.57/予算目標合計出力392.4×100	設置件数8 / 目標設置件数27×100
指標設定の意図	補助金交付による太陽光発電設備の普及状況を把握する。	補助金交付による小規模雨水利用設備の普及状況を把握する。

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a 91	b 100	100
指標			c 30	d 100	100
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額		26,361	30,240	20,300
	人員・時間数		400時間	400時間	400時間
	人件費		1,672	1,672	1,672
	その他経費				
	合計	0	28,033	31,912	21,972
特定財源					

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 60.1%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
a	90.6	c	29.6
b	100.0	d	100.0
$\times 100 = 90.6\%$		$\times 100 = 29.6\%$	
e	f		$\times 100 =$
理由 :	住宅用太陽光発電設備の普及は、121件にのぼったが、小規模雨水利用設備については8件にとどまり、PRが足りなかったのか、需要が少なかった。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	自然エネルギー等の有効活用を促進、普及するための事業であり、時代の変化に的確に対応している。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	太陽光発電設備の場合、新エネルギー財団の補助金の半額を目安に補助額を設定したが、設備全体にかかる経費の1割弱の補助であり、妥当であると考え。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	クリーンな太陽光発電設備等は市立小学校、市営住宅でも採用し、市が率先してその普及に努めていることから、代替の可能性はない。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	太陽光発電設備、雨水利用設備の設置者からは、概ね満足している旨の声が寄せられている。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	自然エネルギー等の有効利用に係る事業は、資源・エネルギーの大量消費に伴う地球温暖化の防止対策として有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 小規模雨水利用設備の設置については、PRが必要である。</p>	
	<p>コスト改善余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 太陽光発電設備が普及すれば、設備自体の価格が下がるため、1kw当たりの補助額を削減することができる。</p>	

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	県内では、小田原市、海老名市が住宅用太陽光発電設備の設置に対し、助成している。
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	平成13年度から始めた補助事業であり、市民の需要の動向を注視しながら、当分の間は継続していく。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--